

令和4年度

あしや

の幼児教育 (No.4)



～園の特色を活かした保育～



芦屋市立幼稚園教育研究会

はじめに

市立幼稚園では、芦屋市の教育・保育理念「“いのち”を大切にし、生きる力の基礎を育む」に基づき「あかるく元気な子ども」「しっかり考え合う子ども」「やさしい子ども」を育てたい子ども像とし、教育に取り組んでいます。

芦屋市の幼児教育のセンター的役割を担っている市立幼稚園として、令和元年度より、実践報告集「あしやの幼児教育」を作成し、今年度は4冊目の発行となります。本書は、幼児教育について可視化を図り、市立幼稚園における「幼児期の大切な学び」について広く発信することを目的としています。

今年度は、各園の特色を活かした保育実践についてまとめました。その分野は運動遊び、幼小連携、自然体験、ICTを活用した保育と多岐にわたっています。それぞれの実践について研究協議を重ねる中で、幼児が豊かな経験を通して「育とうとしている姿」や「学びの芽生え」を確かに読み取ることに努めました。そして、市立幼稚園の豊かな環境（ひと・もの・こと）が子どもの育ちを伸長するものであることを再認識しました。

今年度から新たな取組として「あしやの幼児教育」～ダイジェスト版～を作成することといたしました。市立幼稚園での取り組みを市民の皆様に広くお知らせするとともに、今後も研究・研修を深め、本市の幼児教育の質の向上を図ってまいります。

市立幼稚園の取組に、ご理解とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

芦屋市立宮川幼稚園
岩園幼稚園
小槌幼稚園
西山幼稚園
潮見幼稚園

【本冊子の構成】



かるく元気な子ども

園名

芦屋市の育てたい子ども像

- あ かるく元気な子ども→桃
- し っかり考え合う子ども→緑
- や さしい子ども→黄

〇〇〇〇を活かした保育

『〇〇〇〇』 〇歳児

各園の特色を活かしたテーマ



他の子ども道づくりが好きなんじゃないかな？

教師の読み取りや意図して投げかけた言葉を記入

《Point 1》
全員で楽しさを共有できる遊びを見付ける

教師が特に意識して援助した内容を記入



どっちに行こうかな？

子どもの言葉等がどの学びに接続するのかを次頁表「3つの資質・能力」の色別に分類して表記



※3

下図の「学びの接続」を読み取った写真

事例の遊びから得られた子どもの学び

事例の遊びを通して保護者等が感じた思い

～ 子どもの学び ～
校内の様子を知り期待感を膨らませる

【小学校の先生の声】
小学校生活になじむきっかけになっています

※3

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等		

※の場面で子どもの育ちが「幼児期において育みたい3つの資質・能力」及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」や小学校のどの教科の資質・能力につながっているのかを分析。

目 次

はじめに

本冊子の構成

- ・ あかるく元気な子ども 1
- ・ しっかり考え合う子ども 7
- ・ やさしい子ども 13
- ・ 子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力
. 19
- ・ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 20



あかるく元気な子ども

芦屋市立岩園幼稚園

トキメキが友達に広がる保育

『シャリンバイみつけたよ！』 3歳児

秋の身近な自然物にたくさん触れて欲しいと願い、子ども達と一緒にドングリを探したり、砂場の近くにマツボックリの入ったカゴを置いたりして、子どもが興味をもてるように環境づくりをしてきた。

これなんだろう？



大きい組さんなら知ってるかな

分からないんだって

図鑑にだったら載ってると思うよ

図鑑見てみようか

シャリンバイっていう名前なんだ

《Point 1》

- ・子どもの好きなことにじっくり関わる
- ・子どもが興味をもったことを存分に楽しめるよう、好きな遊びの時間を確保する

ブドウに似てるよ

好きだな



※1

それなに？

シャリンバイだよ



私も欲しい！

Kくん、みんなにどこにあるか教えてくれる？

ここだよ



あった！

欲しいの？あげるよ

ありがとう



《Point 2》

- ・子ども同士が関わるきっかけになる言葉掛けをする
- ・友達の欲しい気持ちに気付き、自ら関わろうとする姿を見守る

《Point 3》

- ・遊びが広がるように道具の種類や数、置き方を見直す
- ・子どもの思いを聞き、共感したり認めたりしながら、周りの子どもにもつなげていく

たくさんお料理
作ったね

ぼくのはシャリンバイの
ケーキだよ

美味しそうだね
味見してもいい？

いいよ

シャリンバイのカレーが
できたよ

甘くて美味しいね
ありがとう

良い匂いがするね

私も一緒にケーキを
作ったんだよ！

～子どもの学び～

- ・保育者に聞いたり図鑑で調べたりして、シャリンバイの名前が分かる。
- ・友達とシャリンバイを見付けたり、使って遊んだりする嬉しさを感じる。
- ・同じ物に興味をもった友達と同じ空間で遊ぶことが楽しくなる。

※1

の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等	「健康な心と体」 「言葉による 伝え合い」 「自然との関わり ・生命尊重」	国語 生活
・シャリンバイがどこにあるか知っている ・分からないことを保育者に聞く	・分からないことを年長児に聞いてみる ・友達の持っている物が見たことがない物だと気が付く	・シャリンバイのことを友達に教えたいと思う ・友達と同じ物や同じ場所で遊びたいと思う		



あかるく元気な子ども

芦屋市立潮見幼稚園

好きなことを意欲につなげる保育

『つなげてつなげて道ができるよ！』 4歳児

一人一人が安定した気持ちで過ごし、自分のしたい遊びを自由に選んだり、試したりできる環境づくりを心掛けている。子どもが考えた遊びの中から、クラス全体が興味をもち、楽しめそうなものを取り上げ、運動遊びのきっかけとなるようにした。



並べることが楽しいんだな
他の子も、道づくりが好きなんじゃないかな？



腕を広げて
バランス！



《Point 1》
子ども達の好きな遊びの中から、
クラス全員で楽しさを共有できる
遊びを見付ける

道づくりで遊ぶ子が増えてきた！
この遊びをクラス全体で楽しみたいな

もっとつなげよう

これも運ぼう！



いっぱい並べると楽しい！

どっちに
行こうかな？

思いっきり遊ぶことが
できて、みんな大満足！
この楽しさを運動遊びの
きっかけにしていこう

- 《Point 2》
- ・ 存分に道づくりができるように、体育倉庫内の用具を全て使えるようにする
 - ・ 一人一人が用具を出したり、試したりできる時間を十分に確保する
 - ・ 思いを自由に出せる雰囲気大切に

落ちないように渡ろう！



もっと繋げよう

《Point 3》

- ・ 発達に応じた全身運動を繰り返し経験できるように大きさや素材、抵抗の異なるマットを用意し、子ども達が並べたり、組み合わせたりできるようにする
- ・ マットの特性に合わせて、自分なりに体の動かし方を試したり工夫したりできるように、繰り返し遊び込む時間を確保する

※2

用具の使い方を工夫して、遊びながら体全体を動かせるようにしたいな

ポコポコが
おもしろい

イモムシ
ごろごろ～



ふわふわ、気持ちいい!

ハイハイできるよ

～子どもの学び～

- ・ 存分に遊びを繰り返すことで、体を動かすことが好きになり、意欲的になる。
- ・ 用具の特性や感触の違いに気付き、体の動かし方を工夫する。
- ・ 遊びの中に自由に試したり工夫したりする要素があることで、気付いたり考えたりする。

【保護者の声】

- ・ 身のこなし方が変わってきました。
- ・ 幼稚園でたくさん体を動かして遊んで帰ってくることで、夜にぐっすり眠るようになりました。
- ・ 自分が考えたことがクラスの人に広まり、とても喜んでいました。
- ・ 子どもがとても生き生きと幼稚園に通うようになったと感じます。



<七夕参観で見てもらったよ>



こんなに好きになった遊びを、保護者にも見てもらうことにしよう!

※2

の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 用具の使い方を知る ・ 感触の違いに気付く ・ 体の使い方を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体の動かし方を工夫する ・ 自分で道を決めて進む ・ 思いを言葉で伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体を動かすことが楽しい ・ 友達と一緒に運んだり、つないだりすることが楽しい 	「健康な心と体」 「思考力の芽生え」 「言葉による伝え合い」 「豊かな感性と表現」	国語 体育



あかるく元気な子ども

芦屋市立西山幼稚園

就学への期待感を育む保育

『ドキドキドン！1年生！！』5歳児

本園は、幼小接続を中心に研究を行っている。コロナ禍で小学生との直接的な交流が難しい中、年長児が小学校生活をイメージし、就学への期待が高まるように活動を計画した。

＜山手小学校探検＞2月下旬



体育館

ここで体育するんだね



校庭

学校の遊具って大きいね！

楽しい！

＜Point 1＞
実際に小学校に行って校庭や教室等を見る機会をつくり、4月からの生活にイメージをもてるようにする



図書室

おもしろそうな本がたくさんあるなあ

＜小学校ごっこ（えんぴつ教室 芦屋市教育委員会主催）＞3月上旬

鉛筆ってこうやって持つのか・・・



＜Point 2＞

- ・学校の先生から鉛筆の持ち方や書き方を教わる
- ・1人1台机を用意し、学校の授業をイメージできるような場を設定する

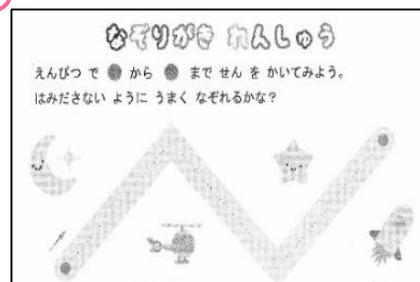
きれいに書くぞ！



鉛筆の持ち方

①あっぱー

①「オクサーできる？」と子どもに尋ね、利き手でオクサーを作る。指をバクバク動かす、口のよう動かす。



えんぴつで えんぴつで えんぴつで

えんぴつで ● から ● まで せん を かいてみよう。はみださないように うまく なぞれるかな？

< 1年生とリモート交流 > 3月上旬

学校生活についてのクイズを出してもらったり、園児からの質問に答えてもらったりした。

《Point 3》

- ・小学校の先生と綿密に打ち合わせをし、園児も小学生も楽しみながら学びにつながるように計画をする
- ・リモート交流でのコミュニケーションの取り方や気を付けることについて子どもと考え合う場を設ける
- ・小学生の話聞いて感じたことに共感し、就学への実感や期待感につなげていく

去年の大きい組さんだ！

3階ぐらいかな？

すごい！

幼稚園より高いね！



学校の校舎は何階まであるでしょうか？

正解は4階です

※3

～子どもの学び～

- ・校内の様子や授業等について知り、見通しをもったり、期待感を膨らませたりする。
- ・昨年度一緒に過ごした卒園児を含めた1年生から教わることで、親しみの気持ちや交流できる喜びを感じる。
- ・相手の話を受け止めたり、自分の思いを言葉で伝えたりする大切さに気付く。

【小学校の先生の声】

- ・スムーズに小学校生活になじめるきっかけがあることがありがたいです。4月の学校探検でも「ここ知ってる」「〇〇があるんだよね」などと話す子もいました。
- ・自分達よりも年下の子に伝わりやすいように言葉選びや発声、態度等を意識しながら学習に臨む姿勢が見られて、1年生にとっても成長の場となりました。



※3

の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 → 小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等	
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校と幼稚園の共通点や違いがあることに気付く ・リモート交流でのコミュニケーションの取り方を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の話聞いてイメージしたり、実際に小学校探検に行ったことを思い出したりして、クイズに答える ・感じたことや疑問に思ったことを小学生に伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流をした1年生と入学後に会えることを楽しみにする ・小学校生活に期待をもつ 	<p>「社会生活との関わり」 「思考力の芽生え」</p> <p>「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」 「言葉による伝え合い」</p> <p>国語 算数 生活</p>



しっかり考え合う子ども

芦屋市立岩園幼稚園

相手の思いを大切にする保育

『みかん組が分かるメニューを作りたい』 3・5歳児

造形遊びを十分に楽しんでほしいと願い、園庭に制作コーナーを作った。すると、画用紙でジュースを作った幼児から、お店屋さんごっこが始まった。最初は5歳児だけでお店屋さんとお客さんになって楽しんでしたが、3歳児が先生と一緒に来たことで、お客さんが増えて喜ぶ姿が見られた。異年齢児とのかかわりがさらに深まってほしいと願った。

《Point 1》

- ・制作ワゴンに、必要な素材や用具を入れて置いておく
- ・子どものイメージしたものが実現できるように、材料の種類を増やす

いらっしゃいませ



お待たせしました！
ぶどうジュースです

りんごジュース！



りんごジュースはないよ

《Point 2》

- ・3歳児との関わりを見守る
- ・振り返りの時間を作り、遊びの中で困ったことや工夫した方がいいことを出し合う
- ・3歳児がひらがなを読めないことに気が付けるように、話題にする

メニューにはないけど、3歳さんがりんごジュースほしって言った

※4

メニューには「りんご」って書いてないのになぜだろう



3歳さんはメニューに書いてあるひらがなが、読めないのかもしれないよ

りんごジュース作る？

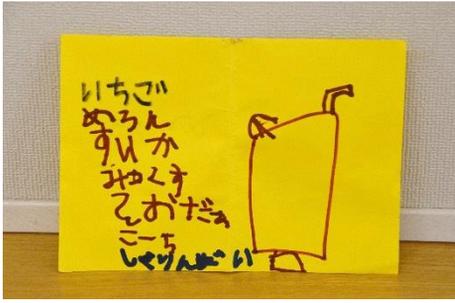
メニューに絵を描いて色を塗ったら？

僕が行ったレストランでは、メニューに写真があって下に名前が書いてあるよ

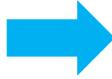
写真があるといいね！



<旧メニュー>



<新メニュー>



《Point 3》

- ・メニューに写真を貼ったことで、3歳児がどんな姿だったか話し合う場をつくる
- ・幼児の喜びに共感する

写真を指で指して、欲しいものを教えてくれたよ

大成功だね！！

写真があった方が3歳さんには分かりやすかったね



～子どもの学び～

- ・5歳児の自分たちには分かることも、3歳児にとっては難しいことがあることに気付く。
- ・3歳児がどうしたら楽しんでお店屋さんごっこに参加できるかを話し合い、相手の立場に立って考える。
- ・試行錯誤して作ったり直したりして、お客さんが喜ぶ姿を見て、充実感を味わう。

※4

の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等	「社会生活との関わり」 「思考力の芽生え」 「言葉による伝え合い」 「豊かな感性と表現」	国語 生活
<ul style="list-style-type: none"> ・ レストランでは、メニューを見て注文することを知っている ・ 3歳児がひらがなを読めないことに気付く ・ 実際のレストランのメニューには写真が載っていることを知っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3歳児が分かるようにメニューを工夫する ・ 自分の考えたことや体験したことを話す ・ 友達の話聞いて、イメージを膨らませたり共感したりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3歳児に分かるようなメニューを作りたい 		



しっかり考え合う子ども

芦屋市立岩園幼稚園

友達の考えにふれる保育

『ザクロを食べたい！』 4歳児

ザクロが実り始めたことに気付き、いつ食べられるのか楽しみにしていた。「いちご組の帽子くらい赤くなって実が割れたら食べられるよ」と園長先生から聞き、友達の帽子とザクロを見比べながら心待ちにする様子が見られた。収穫方法を話し合ったり試したりすることで、自分とは違う友達の思いに気付いて欲しいと願った。



《 Point 1 》

- ・ 2階へ行く時に、ザクロの木が見えるよう階段を使い、継続して見る機会をつくる
- ・ 食べることが楽しみになるよう、食べた経験のある子どもの話を皆で聞く

いざ食べられそうになった時、高いところにあるザクロに手が届かないことに気付いた。木を揺すったり跳びあがったりしても実を採ることができず、クラスの皆で考えを出し合った。

※5

2階から手を伸ばしても届かなかった

手が届かないから高い梯子があるよ

もし無理だったら長いハサミを探そうよ

木に登るのは難しかったよ

ハサミいる？

手でくるくるってしたらとれると思うよ

《 Point 2 》

- ・ 自分たちでザクロを採る方法を考える
- ・ 一人一人の考えや思いを引き出す
- ・ 子どもが考えたことを一緒に試す



梯子の上でくるくるしたらとれたね！

味はスイカだね



美味しいね
桃のにおいがする



何度も味わったり、絵本や歌でもザクロに親しんだりしたことで、よりザクロが好きになり毎日様子を見に行く幼児が増えた。落ちていて食べられないザクロも宝石のようだと言葉をトキメかせ、遊びに使いたいと友達と考え合う姿が見られた。

<実集め>

落ちてるザクロを見つけたよ



何して遊ぶ？

<ごちそう作り>

ザクロを飾りにするのはどう？



美味しいケーキになるよ

<色水>



ザクロジュースっていい匂いがする

乾かしたら種になるかも…

<種をとる>



どこに植える？

～子どもの学び～

- ・ザクロを継続して見ることで、興味が深まる。
- ・果実には食べごろがあることを知る。
- ・高い木の果実を採るために、方法を考えたり、友達と思いを伝え合ったりすることで様々な方法があることに気付く。

※5

の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	→ 小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等		
<ul style="list-style-type: none"> ・ザクロは食べられると知っている ・ザクロが食べ頃になったことに気付く ・高い木の果実を採るために色々な方法があることを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・実を採るために考えたことを話す ・考えたことを試す ・試したことで分かったことを話す 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達が話を聞いてくれて嬉しい 	<ul style="list-style-type: none"> 「思考力の芽生え」 「自然との関わり・生命尊重」 「豊かな感性と表現」 	生活



しっかり考え合う子ども

芦屋市立宮川幼稚園

体験が深まるICTを活用した保育

『オンラインで収穫を見せてもらったよ』 4・5歳児

本園では、農家の方（田んぼの先生）に指導を受け、日本の伝統文化である米作りを体験している。今年度はICTを活用し、本物の田んぼや稲刈りの様子を見せて頂き、より体験が深まるようにした。

〈6月8日 みんなで土作り〉



《Point1》

田んぼの先生から頂いた土で田植えの準備をする

幼稚園の砂とは違うね
とろっとして気持ちいい！

《Point2》

田んぼの先生から苗の植え方や米作りに欠かせない「八十八の仕事」があることを教えてもらう機会をつくる

〈6月13日 苗を植える〉



苗ってまっすぐ、
ぐうっと植えるんだね

〈9月26日 オンラインで稲刈りの様子を見せてもらったよ〉

※6

うわあ！すごく大きい！広い！
幼稚園の田んぼと全然ちがう

僕たちの育てている米と
きょうだいの米なんだね

私達の田んぼと色が違う、
こがねいろだ

田んぼの先生は
ずっと昔から
田んぼをもって
いるんだ

コンバインって
いう機械で稲を
刈るんだ！

かっこいい！
乗ってみたい！



《Point3》

園ではできない経験をリアルタイムで体験できるようICTを活用する



〈10月17日 オンライン後、
田んぼの先生と稲刈り〉

コンバインや田んぼのことを
もっと教えてほしいな

《Point 4》
オンライン後、田んぼの先生との
収穫に期待を高める

私たちも収穫がんばるぞ！

コンバインを運転して、お米のことを
なんでも知っている田んぼの先生ってすごい



稲って固いね
僕たちはハサミで何回も
切らないといけないなあ

田んぼの先生も
わらを干してたね

収穫した米は玄米や
ぬかになって、捨てる
ところがないんだ

- ～子どもの学び～
- ・ オンラインを通して実際の田んぼと自分達の田んぼを重ね合わせたことで米作りや稲刈りへの興味関心が高まり、もっと知りたいという意欲や好奇心をもつ。
 - ・ 田んぼの先生から田んぼや、わらの話を直接聞いたことで、受け継がれている米作りを身近に感じ、その文化や風習を知る。

※6

の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等		
<ul style="list-style-type: none"> ・ オンラインを通して、稲刈りの仕方やわらの干し方を知る ・ 米作りに対して新たな興味や関心をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米作りで得た知識をもとに、米や、わらの大切さについて自分なりに考える ・ 自分達の田んぼと田んぼの先生の田んぼを比べたり、違いに気付いたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTを活用し、自分が知らなかったことを知り、もっと知りたくなる ・ 身近な人の話を聞いたり、関わったりすることが楽しくなる 	<ul style="list-style-type: none"> 「自然との関わり・生命の尊重」 「思考力の芽生え」 「言葉による伝え合い」 「豊かな感性と表現」 	<p>→</p> <p>国語</p> <p>生活</p>



『ザリガニさん、どうしたんだろう』 3歳児

池でザリガニが動かなくなっているのを見つけた子どもが、先生や友達に知らせにきた。ザリガニの命について3歳児なりに思いを寄せられたらと願い、クラスで考えることにした。



ザリガニさん
どうしたんだろう？

温かくなったら、
また動くよ！

全然動かないから
死んでるよ

えさがなかったの
かな・・・

寒いからふるえて
たんじゃない？

お医者さんに
治してもらおう

《Point 1》

- ・一人一人の子どもの気付きや
思いに寄り添う
- ・一人の気付きを、他の子ども
に伝え、みんなで考える機会
をつくる

みかん組に連れて
帰ってあげよう



お顔がない
もう何も見えないし、
食べられないね



お顔がないね
どうしたんだろう・・・

はさみでちょきんって
けんかしたのかな？

《Point 2》

ザリガニがよく見えるように、
保育室に連れて帰る



元気なザリガニってこんなのだよ！

※7



《Point 3》
 図鑑や絵本を見る事で、
 写真のザリガニと、目の前
 にいるザリガニとの違いを
 感じられるようにする

おめめがあるね！

おひげもあるよ！



今日見つけた
 ザリガニさんには
 ないね・・・



ベッドをお花で可愛くしてあげよう
 ザリガニさん、うれしいよね

～子どもの学び～

- ・ザリガニがどうして動かなくなったのか、自分なりに考えたり友達の話の話を聞いたりする。
- ・図鑑のザリガニと、目の前の動かないザリガニとを比べて死んでしまったということを感じる。
- ・ザリガニについて描かれた本や写真を自分から探す。
- ・先生や友達に、気付いたことや感じたことを話そうとする。

※7

の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等		
・池の中で動かないザリガニは「死んでいる」と思う ・目がないのでもう見えないし、口がないのでもう食べられないと知る	・ザリガニがどうして死んだのか思っていることを話す ・図鑑や絵本に描かれているザリガニと、目の前にいる動かないザリガニとを比べて考える	・動かないザリガニをかわいそうだと思う ・可愛いベッドに寝かせてあげたいと思う	「自然との関わり・生命尊重」 「思考力の芽生え」 「言葉による伝え合い」 「豊かな感性と表現」	国語 生活



『大きい組になったらまた会おうね！』4歳児

2学期、5歳児からカメの『にこちゃん』の世話を引き継いだ。エサをやるとどんどん食べたり、掃除したお家の中で歩いたりするカメの姿に親しみをもち好きになった。しかし、季節が変わり寒くなるとエサを食べなくなったことに気付いた。そこで、カメの冬眠について考えたり感じたりできるように支えた。

《 Point 1 》

- ・ カメがエサを食べていないことに気が付けるよう、エサをあげた後一緒にカメの様子を見る
- ・ 朝一番にカメの世話をし、その後も様子を見に行けるように声を掛ける

※8



にこちゃんのご飯食べなくなったの、どうしてなの？

冬眠するから池に入れてあげたいんだよ

《 Point 2 》

- ・ 分からないことは5歳児に聞こうとする気持ちを大事にする
- ・ 5歳児を頼りにしようという気持ちを受け止める



《Point 3》
 来年の春を楽しみにできるように、3・4歳児でカメが池に入る様子を見守る



あたたかくなったら
また会おうね

もぐっていったね

金魚さんと
一緒に泳いでるね

大きい組になった時、
たくさんエサをあげるね

広いところでうれしそうだよ

- ～子どもの学び～
- ・ 友達と一緒に見たことを伝え合う中で、カメにとって過ごしやすい環境について考える。
 - ・ エサを食べなくなったカメを何とかしたいと思う気持ちが芽生える。
 - ・ カメの変化に気付き、冬眠について知る。

※8

の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生きるためには、食べ物が必要だということを知っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ なぜカメがエサを食べなくなっているのか、自分の思っていることを話す ・ 5歳児や友達の話聞いて考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ カメと自分達の生活を重ね合わせながら、カメの気持ちを想像する 	<ul style="list-style-type: none"> 「自然との関わり・生命尊重」 「思考力の芽生え」 「言葉による伝え合い」 「豊かな感性と表現」 	<ul style="list-style-type: none"> 国語 生活



『テントウムシがうまれたよ！』 5歳児

身近な生き物や植物に興味もてるよう、4歳児の時から「みつけたよ」コーナーを作った。自分の見つけたものを保育者や友達と共有することをねらって生活してきた。5歳児になって、見つけたことについて想像したことや自分なりの仮説を絵や言葉で伝えられるように「みつけたよ」カードを作った。互いの思いを認め合える仲間づくりを目指している。

< 5歳児「みつけたよ」カード >

この緑の三角が茶色になると種がたくさん出てくるよ！



この種 黒くて小さいよ！

《Point 1》

- ・見つけたものを貼ったり絵に描いたりできる環境を整える
- ・図鑑や虫メガネ等を自分達で扱えるように用意しておく



< 4歳児「みつけたよ」コーナー >

部屋で飼ってみよう

テントウムシを見つけたよ！



なにテントウかな？

みんなに知らせよう！

「みつけたよ」カードに描こう！

タマゴを発見！



部屋で育てているテントウムシの卵と一緒にだ！



< 「みつけたよ」タイム >

《Point 2》

- ・見つけた生き物を部屋で育てたり植物の種を植えたりして、自ら試し考えて興味を深められるようにする
- ・見つけたこと、不思議に思ったことを言葉や絵、身振りで伝える場をつくる



ある日...

テントウムシになったよ！

《Point 3》

友達が見付けたことを見聞きしたり質問したりして、互いの思いを共有し合う場をつくる

※9

サナギの皮をこうやって脱いだんだよ！
こうやって！

足に力が
入っているね

しらなかつた

ぼくもみた！

出てきたばかりは
黄色いんだって

抜け殻もおしりに穴が
開いてた！

どうやってテントウムシ
になったのかな？

そう！そう！

皮を脱ぐのが
大変そう

足がすごく
動いてる

おしりから出てきてる！

《Point 4》

子どもが興味をもったことをクラスの活動
として様々に展開する
(制作・絵画・表現遊び・仲良し遊び・
飼育活動)



～子どもの学び～

- ・ 自分の見付けたことや考えたことを友達に絵や言葉、身振りなど、様々な表現方法で伝える喜びを感じる。
- ・ 友達の思いを受け止め伝え合い、新たな気づきや知識を共有する。

※9

の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力

幼児期の終わりまでに
育ってほしい姿

小学校教科



知識及び技能の基礎

思考力、判断力、表現力等の基礎

学びに向かう力、人間性等

・ テントウムシが、
サナギから成虫に
なることを知って
いる

・ サナギの抜け殻を見て、
どうやって出てきたのかを想像し、
体で表現して伝えよ
うとする

・ 友達の姿を見て自分
の知っていることと
照らし合わせて話す

・ 自分の見たことや
考えたことを伝え
たい

・ 友達の姿を見て感
じたことを伝える

・ より興味や関心が
深まり、自分も見
てみようと思う

「思考力の芽生え」
「豊かな感性と
表現」
「言葉による
伝え合い」
「自然との関わり・
生命尊重」

国語

生活

【子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力】

幼稚園教育において育みたい3つの資質・能力			
	(1) 知識及び技能の基礎	(2) 思考力、判断力、表現力等の基礎	(3) 学びに向かう力、人間性等
遊びや生活	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする。	気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。	心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。
小学校第1学年で育成することを旨とする3つの資質・能力			
	(1) 知識及び技能	(2) 思考力、判断力、表現力等	(3) 学びに向かう力、人間性等
国語	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり、理解したりすることができるようにする。	順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようになる。	言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
算数	数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにある量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを養う。	数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。
生活	学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気付き、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりするようにする。	身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。	自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活するようにする。
音楽	曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。	音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見出しながら音楽を味わって聴くことができるようにする。	楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
図画工作	対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。	造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。
体育	各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行いを知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。	各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。	各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】

(1)健康な心と体	幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。
(2)自立心	身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。
(3)協同性	友達と関わる中で、互いの思いなどを共有し、共通の目的の友達と実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。
(4)道徳性・規範意識の芽生え	友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。
(5)社会生活との関わり	家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域の親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。
(6)思考力の芽生え	身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。
(7)自然との関わり・生命尊重	自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探求心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることをかかわるようになる。
(8)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。
(9)言葉による伝え合い	先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。
(10)豊かな感性と表現	心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】

・ 出典・参考文献

○幼稚園教育要領（平成29年告示）

文部科学省

○幼稚園教育要領解説（平成30年3月）

文部科学省

○小学校学習指導要領（平成29年3月告示）

文部科学省

